

## 置かれた場所で花を咲かせること

黒 崎 隆 博  
(辰巳化学株式会社)  
代 表 取 締 役



弊社は1941年創業、石川県金沢市に本社を置き、白山市に工場を持つ医療用医薬品メーカーです。製造している医薬品は、ジェネリック医薬品で、自社ブランド「TCK」及び同業他社である製薬会社からのOEMも受けています。

医薬品製造にはとても高い倫理観が求められ、国から厳しい製造・品質の基準が定められており、弊社もそれに沿った製造の体制をとっています。開発、製造、販売、市販後の調査など、多くの法律に沿った手順に従って事業を行っています。

また、販売に関しては、国が定める公定価格である薬価があり、その薬価の範囲内での販売となります。社会保障費から薬の財源が出ているため、国の社会保障政策の影響を大きく受ける業種であり、私たちは国の社会保障の一翼を担っている公的な会社であるとも言えます。

私は、大学卒業後、東京の会計事務所で働いていました。当時は、税理士を目指しており、お客様の帳簿のチェック、記帳、申告書の作成の手伝いなどを行っていました。今でも、職場のあった飯田橋の付近を通ると懐かしさを感じます。そのときに学んだ細かい数字を最後まで見ることは、本当に大事なことだと今感じています。

父が60歳になったのを機に現在の会社に入りました。総務や経理を経験し、全国の販売会社や子会社も回りました。会社の作った薬が全国に供給されていることを知り、また、辰巳化学の冠のついた販売会社があることも知ったことは、とてもありがたいことでした。

工場を初めて見学したときも、印象的でした。薬がどうやって作られているのかを工場長から説明を受け、防塵服に身を包んで製造工程を歩いた時のことは、よく覚えています。医薬品製造の機械は特殊な機械が多く、製造工程は1ルーム1マシーン、製造環境はクリーンルームでの製造です。現在は見学通路もあり、窓越しに製造工程の一部を見ることができます。現在はコロナによって見学制限をしていますが、コロナが明けた際には、見学の希望がございましたらお声かけ下さればと思います。

当時は売上で38億円でしたが、その後のジェネリック医薬品の使用促進もあって、現在は売上で約150億まで成長し、工場も1棟だったのが3棟になりました。恒常的に設備投資が必要なのが製造業の宿命だと思いますが、設備を維持し、導入していくのは本当にお金がかかります。投資金額は每期10億を超え、キャッシュフローの大半は工場の投資に回っています。

数年前に営業部長であった叔父の専務が亡くなり、4年前に社長に就任しました。私が今の立場になって思うのは、社長とそれ以外の役職では、見なければならぬ範囲には大きな差があるということです。経営は人、物、金と言いますが、それらを管理し、日々起こるトラブルの報告を受け、その対応をしなければなりません。一方では、事業を拡大するための顧客の獲得、そのための開発、生産の対応と、同じ日常というのはなくなったと感ずることがあります。

最近、私がとくに大事にしていることが2つあります。一つは自分の出来る影響の範囲を知ることです。自社で出来ることできないこと、得意分野は何か、それを良く知って、そこに集中しなければならぬと感じています。自分たちが影響を及ぼせる範囲内で事業を行うこと。これは個人としてもそうだと思います。人には持って生まれた性格、資質、環境があります。出来ることは頑張り、できないことは人に任せる、もしくはやらないということをしていくことが大事です。できないことに悩む必要もありません。もちろん新規事業やチャレンジというのは成長に欠かせませんが、よほどの意欲がなければならぬと思います。私たちは前段に述べた大規模な工場設備を有すること、薬を開発する力があることが強みであると認識し、そこに付随する事業に徹することが大事であると思います。

二つ目は一つ目にも関わりますが、社員の特性をよく見てそれを最大限に活かす仕事をして頂くことです。社長は万能ではないと思います。ただし、自分より優秀な社員を持ち、その素質を活かすことが大事だと思います。幸い弊社には自分よりも優秀な社員、個性的な社員が沢山いますので、その人たちとよく話し合い、特性を見極め、仕事を任せるようにしています。長所短所は必ずありますが、長所を伸ばして、短所はそういうものだと受け止めることが大事です。

置かれた場所で花を咲かせなさいという言葉があります。会社には会社の、人には人の個性があります。自分を良く知り、人と話し、会社のことを良く知って、何が与えられた強みなのかをよく考え、そこに集中していきたくて考えています。自分に合った経営しかできませんし、ほかの経営者がやっていることを参考にしても、完全に真似することはできません。自分や自社にできることに集中して、徐々に発展していくことで、最終的に社員を幸せにし、社会に貢献することが目標です。様々な個性を持った仲間や会社と協力して一歩ずつ歩いていこうと思いますので、お声を掛けてくだされば幸いです。